贈る言葉

校長　泉谷俊郎

ご卒業おめでとうございます。皆さんは高校生としての期間で多くのことを経験し身につけて、次のステップで新たなスタートを切る準備が整っていると感じています。新たな場所で存分に良さを生かして活躍してくれることを期待しています。そのために、どのような状況でも自分をもち続けて行動することができるしなやかな強さをもってもらいたいと思っています。いわゆるレジリエンスという言葉で表現されることです。強風に揺るがない強さというよりも、風を受けてもしなりながら風を逃がしていく、ダメージを受けても元に戻る力が大きいという強さです。

皆さんには、まず人としてのレジリエンスを高めてくれることを望んでいますが、それに加えて所属する場としての集団のレジリエンスを高める意識をもってほしいと思っています。人が作った組織や社会に当てはめた場合、多様な人がいることと、その人たちが互いにうまく関わり合うことでその力は大きくなります。関わりがよければその集団はしなやかな強さをもつことにつながるのです。自分のことだけではなく所属する集団のことを考え、その強さにも役割を果たせる人であってほしいと願っています。自分が所属しているところを客観的に外から見ているかのように積極的に周りの人と関わり合う。まずはこれから所属する新たな場所で実践してください。それは将来的に自分たちの家族や職場、そして地域や社会全体の強さを増していくことになり、自らの充実した生き方へとつながっていく考え方です。

所属という点でいえば、これまで当たり前のように家族や友人と一緒に過ごしてきたこの地も一つの所属場所です。卒業を機にそれぞれが活躍の場を広げることになりますが、皆さんは、この地域の人から大きな期待と応援をされています。どの地域の人もそこに育つ若者に期待しています。しかしながら、三高ほど地域や卒業生から強い思いを寄せてもらっている高校はそう多くないと感じています。今年度オープンした食堂からも地域のありがたい思いが実感できるのではないでしょうか。この地域はこれからもずっと皆さんを応援し続けているということを心にとめておいてください。期待や応援の本質を受け取れる人は、その力を活かして自分の望みをかなえることができる人です。そして自分のめざすことが一つ一つ達成していき、少しゆとりができたときにはこの地に関わり、この地域がより良く強くなっていくことにも力を注いでください。

香川県の東部地域は自然豊かで人のあたたかい地ですが、さまざまな課題もあります。しかし、また大きな資源と可能性がある地域でもあります。それをどう生かしていくかは皆さんの世代にかかっています。これからの時代でめざしていくのは、人が増えて経済が大きくなってという従来型の発展というものでしょうか。それとも違った発展形があるのでしょうか。地域の新たな望ましい姿を皆さんの手で実現させてください。一人一人の未来が豊かで充実したものであることを願うとともに、この地域や日本の社会全体への視点をもちながらそれぞれの力を発揮してくれることを期待して贈る言葉とします。